

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

新日本科学は「創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する」という使命を掲げ、企業理念「環境、生命、人材を大切にできる会社であり続ける」を経営判断の根底にして、医薬品開発に関わるライフサイエンスに軸足を置いた独自のビジネスモデルを築いています。

当社は2028Vision「ステークホルダーに寄り添い、幸せの連鎖を創造する」を掲げています。多様なステークホルダーに寄り添い、事業活動を通して創出した経済的価値および社会的価値をもって世の中に幸せの連鎖を創造することは、2015年に国連で採択されたSDGsそのものです。

私たち新日本科学は、これまでも、そして、これからも世界中の人々が幸せに暮らせるようSDGsの達成のために貢献し続け、わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せな社会の実現に貢献します。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	脱炭素に向けた取組みに向けて、Scope1,2,3 排出量を算定・開示し、CDPの気候変動分野ではBスコアを取得した。	目標 (2031年3月期) Scope1 排出量を2021年度比45%削減	2025年3月期実績 Scope1&2 排出量：17,452t ・施設拡張等により前年比で横ばいの推移であった。 ・一方で売上高当たりのCO2排出量は前年比19%の削減を達成した。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進に向けて、鹿児島県の企業では初めて「プラチナえるぼし認定」および「プラチナくるみんプラス認定」を取得。	目標 (2029年3月期) 管理職に占める女性割合：30%以上	2025年3月期実績 管理職に占める女性割合：24.3%
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	2028Vision「ステークホルダーに寄り添い、幸せの連鎖を創造する」の実現	目標 (2029年3月期) ・売上高500億円 ・経常利益200億円 ・売上高経常利益率40% ・配当性向30~40%	2025年3月期実績 ・売上高324億 ・経常利益66億 ・売上高経常利益率20.4% ・配当性向42.3%

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

今期は、非財務情報の開示強化を重要なテーマの一つとして位置づけ、当社WEBサイトをリニューアルし、E、S、Gに関する取組みを体系的かつ分かりやすく開示しました。これにより、ステークホルダーに対する情報提供の充実と透明性の向上を図っています。

こうした取組みの成果の一つとして、ESG評価においては、FTSE Blossom Japan インデックスに選定されました。また、脱炭素に向けた取組みでは、従来開示してきたScope1およびScope2の温室効果ガス排出量に加え、今期から新たにScope3排出量の開示を行い、サプライチェーン全体を視野に入れた排出量把握を進めました。さらに、CDPにおいては、気候変動分野および水セキュリティ分野の両部門でBスコアを獲得しています。

社会面では、DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進にも注力しており、今期から女性取締役比率は33.3%となりました。また、統合報告書においては、子育てを経験した役員および管理職による座談会を掲載するなど、多様な働き方や価値観への理解促進に向けた取組みを進めています。

- ・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組, 及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	脱炭素に向けた温室効果ガス排出量の削減	目標(2027年3月期) ・SBT認定の取得
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	マテリアリティの1つに掲げた「働く楽しさを実感できる組織づくり」の推進	目標(2029年3月期) ・管理職に占める女性割合:30%以上
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	2028Vision「ステークホルダーに寄り添い、幸せの連鎖を創造する」の実現 「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念のもと、経済的利益と社会的利益の一体的な創出に努めてまいります。	目標(2029年3月期) ・売上高 500億円 ・経常利益 200億円 ・売上高経常利益率 40% ・配当性向 30~40% ・REO 10%以上 ・ROIC 10%以上

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

新日本科学は、当社スローガンである「私も幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」な社会の実現に向け、「社会貢献活動に関するポリシー」を制定し、「保健医療へのアクセス」、「教育へのアクセス」、「地域・環境資源の保全と持続可能性向上」を優先活動分野として選定しています。

SDGs達成に向けて、当社は下記のパートナーシップの取組みを実施しています。

- ① 当社は、指宿市で陽子線による固形がんの治療を実施している「一般社団法人メディポリス医学研究所メディポリス国際陽子線治療センター」の建設を支援し、その後の運営サポートを行っています。
- ② 当社は、鹿児島で英語教育に強い認定こども園として高い評価を受けている「ヴェリタスこども園」の経営を支援しています。
- ③ 当社は、健康経営の取組みについて取引先の会社様へ紹介し、情報交換を行うとともに、お互いの組織で健康経営を進める上での課題や効果的な取り組み方法について意見交換を実施しています。

当社は、サッカークラブチーム「鹿児島ユナイテッド FC」のオフィシャルトップパートナーとして応援しています。

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。